

■**鵜飼吉左衛門** 水戸藩士。徳川斉昭の側近として転変，“戊午の密勅”入手に成功するも，〈安政の大獄〉で死罪。

うがいきちざえもん
古事記伝・・1798＝

鵜飼真教の次男に生まれ，
叔父知盛の家督を継いだ。

👉**船狼藉**・1807＝**9歳**：

伊能測量終・1816＝**18歳**：

水野忠成老中1818＝20歳：

異国船打払令1825＝**27歳**：

富籤流行・・1830＝32歳：この頃から，藩主**徳川斉昭**に仕え，

天保大飢饉始1833＝35歳：_京都留守居に進む。

高島砲術・・1834＝**36歳**：

大塩平八郎乱1837＝39歳：

順天堂始・・1843＝**45歳**：

天保改革終・1844＝46歳：_斉昭が失脚すると，権臣の藩政を専断するのを憤り，書を堂上廷臣に呈したことが罪に問われ，

阿部正弘首座1845＝47歳：

孝明天皇・・1846＝48歳：_職を奪われて水戸に還されたが，

万次郎帰国・1852＝**54歳**：

ペリー来航・1853＝55歳：_斉昭の政界復帰により前職に復し，

蕃書調所・・1857＝59歳：_長男**幸吉**(**知明**)も京都留守居助役を命ぜられて父を輔佐。

五ヶ国条約・1858＝60歳：*老中**堀田正睦**が入京して条約の勅許を請うと，その阻止に奔走し，將軍継嗣問題では青蓮院官尊融法親王・内大臣**三条実方**に一橋慶喜の擁立を入説，また**斉昭**の命により，池内陶所を通じて兩人に幕府の嫌疑を受けることのないよう申し入れさせた。大老**井伊直弼**のもとに日米修好通商条約の調印が断行されると，父子で鹿児島藩士**日下部伊三次**・儒者**梁川星巖**らと謀り，左大臣**近衛忠熙**および**実方**らに入説し，勅諭によって直弼を却けようと計画して，朝議もこれに決した。武家伝奏**万里小路正房**の里亭に赴き藩主**徳川慶篤**に下された勅諭(戊午の密勅)を託されたが，病のため**幸吉**に捧持させて東海道を下らせ，勅諭は無事江戸小石川藩邸に届けられ，慶篤に伝達された。幕府は事の重大なのに驚き，外交事情弁明のために上京した老中間部詮勝に勅諭降下関係者の逮捕を命じたので，父子ともに京都町奉行所に出頭を命ぜられ，六角の獄に禁錮され，江戸に推送，大聖寺藩邸，**幸吉**は高田藩邸に預けられ，

安政の大獄・1859＝61歳：*評定所の糺問を受けた後，江戸伝馬町の獄において死罪に，**幸吉**は獄門に処せられた。

初め父子は密かに小塚原に埋められたが，1862の大赦令により罪を赦され，水戸常磐原(茨城県水戸市松本町常磐共有墓地)に帰葬された。歌集に「雪の細道」(「蛙の声」)がある。